

「春の俳句と文章作り」学習振り返り分析レポート

児童の学習成果を可視化し、学びの質と今後の指導の方向性を共有する。

学習の成果と児童の反応

自己肯定感と学習意欲の飛躍的向上



「できた」という実感に加え、次の季節への創作意欲が非常に高く表れています。

思考の可視化と定型への高い意識



ウェビングで内容を整理し、17音の定型を意識して推敲する姿が見られました。

季語を通じた豊かな語彙の獲得



「菜の花」「春うらら」など、季節特有の言葉を適切に選択できています。

さらなる成長への指導指針

「字余り」の導入で表現の幅を拡大



17音を超えた児童に対し、技法としての字余りを教え表現を肯定します。

家庭・地域との学びの共有



家族との対話をきっかけに、学級通信等で作品を公開し意欲を高めます。

継続的な振り返りによる成長の自覚



次の季節の学習時に今回の振り返りを読み返し、自身の成長を実感させます。

学習進捗の評価・傾向

思考・判断		ウェビング等の手法を使い、書く内容を整理できている	
技能（構成）		「1つ目、2つ目…」と構成を意識した説明文が書けている	
態度		他の季節への関心が高まり、継続的な学習意欲がある	